

フリストイ的な僧侶たち

43

お坊さん日和。
さかなにも歴史あり
しりとり法話バトル
小さくて大きいもの

Movie Review
仏教イベント情報

特集

フリスタが見た
尼僧アイドルの素顔



フリスタが見た 尼僧アイドルの素顔



撮影：北原真司（表紙、P2、P10）

奈良県吉野郡の静かな山間やまあいにあるお寺の副住職、中村祐華さん。自称、尼僧アイドルとして、9年前から、ライブハウスを中心に法事活動をしてきた。アイドル名は、その名も愛\$菩薩アイドルほさつ。第一印象で即断することなかれ。知る人ぞ知る地下アイドル、否、「今拝める菩薩」の素顔に迫った。

取材・写真・文／若林唯人（本誌編集長）



右／副住職を務める西迎院で開催された「お寺SONIC 2」。会場となった本堂は、お檀家さんはもちろん、「法事」の共演者や県内外からの菩薩ファンで埋め尽くされていた。左／法話をする愛\$菩薩。歌や踊り、まっとうな法話など、仏教をさまざまな形で伝えようとする「法事」のパフォーマンスは、老若男女かかわらず魅了する。この日は会場がお寺だったため法衣を着用。

4年ほど前、私が「フリースタイルな僧侶たち」に関わり始めた頃だった。

「愛\$菩薩って人がいてさ。最近ファーストアルバム出さはってん」

目に飛び込んできたのは、菩薩様の髪型を模した金髪のカツラに、同じくゴールドの布をまとった、顔アップの荘厳なジャケット写真。タイトルは『菩薩 Revolution』。そして「愛\$菩薩」の文字。

「え、しかも本物の尼僧さんなんですか!?! (こ、これはあかんやつや……)」と、同じ僧侶として、頭を抱えた。

他方で、その場にいた同世代の若い人たちの反応は対照的。「やばい! むっちゃおもろいですね(笑)。ライブも行ってみたいわ」という声に、ハツとした記憶もある。

それから程なくして、私服姿のご本人にお会いする機会があった。思いのほか清楚。それでも、まだ身構えて話すうちに、イメージがどんどん裏切られる。むちゃくちゃや真面目で、仏教に熱くて……。もう、混乱しかない。

だけどその後、何度かお会いした際にお話を伺ったり、実際に法事に足を運んだり、

そして改めての今号のインタビューを通して、当初の疑問は霧散した。

ライブハウスに菩薩降臨

愛\$菩薩の法事に初「参詣」したのは、遅ればせながら今年の6月。セカンドアルバム『菩薩 Calling』略してボサコリ〜の発売に合わせて開かれた、愛\$菩薩の主催イベント「菩薩 SONIC 7」略してボサソニ〜」だった

(略称も推してくるな〜) 思った方、おられますか。私もです。

愛\$菩薩の他に10名ほどのアーティストも迎えてのこのイベント。会場は、浄土宗の総本山「知恩院」のお膝元にあるライブハウス。期待と不安を抱きつつ、ドアを開けると。会場は満員。すでに熱気で満たされていた。

歌あり、笑いあり、法話あり。他のアーティストも交えての大喜利コーナーもあった。法衣を着用しての法話の時間もあった。「中にチラホラと、お坊さんもお見えのようなんです、なんかこう、法話の研修会みたいで、なんとも言えないプレッシャーを

感じておりますけれども、講評は後ほど、メールにてお待ちしております。という法話前のMCが、僧侶的にツボ。いざ法話が始まるとド直球で、「仏教を生きたこと、その教えに支えられ、生き方の指針も与えられる」ということを、実感に裏打ちされた重量感ある言葉で、笑い無しで語る。もうね、緩急ありません。

トリを務めた愛\$菩薩のステージは1時間にわたった。曲間のMCも法話で、曲名も歌詞も仏教全開。「輪廻の向こう側へ」、「極楽浄土」、「爪上の土(自分の命が恵まれたこと、さらにその人生の中で仏法と出会うことは文字通り「有り難い」ということを、お釈迦様が示された比喻の名称)」など、仏教の教えを和らげて自ら作詞した曲を、アーティストと共演しながら歌った。アンコールに

迎えての曲は「菩薩音頭」。フロアにいた全員で盆踊りナンバーを歌い踊り、菩薩愛に包まれながら法事は終演した。

法事をするたった一つの理由

愛\$菩薩の誕生秘話を知り

たくて、中村祐華さんに生い立ちから話を伺った。

兄・姉・菩薩。三人兄弟の末っ子。そのため「お寺を継がないといけないから、僧侶になつた」わけではない。

中高生の頃は「歌手になる」のが夢で、「安室(奈美恵)ちゃんみたいになりたかった」とのこと。「今のキャラと違いすぎますやん」とは、もちろん思いました。

高校に進学してから、ボイストレーニングに通うようにもなる。他方で、高校はお姉さんも通っていた仏教校。仏教を学ぶ授業もあり、次第に仏教への関心が高まっていく。

「自分が正しく、幸せに生きるために必要なこと」と思い、仏教の勉強に勤しんだ。

大学でも仏教を学びたくて、佛教学部に進学。引き続きボイストレーニングには通うも、さらに仏教を学ぶ中で、尼僧になることを決めた。「仏教で自分の中では確かに救いがあるけれど、それを人に伝えるとなると、やっぱりお坊さんの道やな」と思ったんです。「その思いを胸に大学3年の冬、加行という修行を受け、浄土宗の尼僧となつた。



そして25歳のとき、ついに「愛\$菩薩」が誕生。きっかけは「ピアノとDJでコラボをした」というDJの友人のブログ記事だった。「同世代の人たちに仏教を伝えられたい。ボイストレーニングの経験を活かして音楽でそれができたらと思っただけだけれど、自分じゃ作曲はできない。でも、お経をトラックに乗せたら若い人たちに響くんじゃないか。DJとお経でライブができるんじゃないかなと、そのとき思っただけ、話をもちかけたら即OK。ライブハウスでトラック(楽曲)に乗せて、「仏説無量寿経」の一節「四誓偈」を唱える運びとなった。その後、オリジナル曲をアーティストに提供してもらい、そこに自らの作詞で仏教の教えを載せるようになる。父であるご住職も、「若い者同士やからこそ通じ合えることもある。身の丈に合った伝道を精進しなさい」と、ライブ活動について理解を示してくれているそうだ。

ところで、法事に「ライブ」と「ルビク」を振っていることが気になった、という方もおられると思う。聖飢魔IIのデーモン小暮閣下が自身の

ライブを「ミサ」と呼ぶことに倣って、「法事」と書いて「ライブ」と読むことにしたとのこと(笑)。それはそうと、法事とは一般的に「亡き方への追善供養の行事」のことだが、元々の意味合いは「仏法(仏教の教え)に出会う行事」。この意味において、愛\$菩薩のライブは、まさに法事だ。

愛\$菩薩の活動理由。それはすべて、「自分と同世代の若い人たちに、仏教と出会っていただくきっかけのため」——「仏教は、人生の色んな悩みを解決したいと思ったときに導いてくれる。でも私の

お寺は過疎の地域にあるし、お寺で待つだけでもなかなか若い人は来れないから、それだと伝えようもないから、だったら若い人たちがいるところへ行けばいいと思っただけ、月に1〜2度、ライブハウスに降臨するのだ。この話を聞いたとき、800年以上前、比叡山を降りられて、市井の人々に仏教の教え・お念仏の教えを説かれた浄土宗の宗祖法然上人のお姿が、ふと心に浮かんだ。

中村祐華さんが感動した「人に伝えたい」仏教の教え

は、どういふものなのだろう。「それこそいっばいある」けど、その一つは「自業自得」、つまり「自分の行いの報いは、自分が受けること」。

「前に、『なんでこの人は、私をこんなに傷つけるんだろう』と耐えられなくなって、距離を置いたことがあったんですよ。でも、『大事にされたい、大事にされたい』と私は思ってたけど、逆に自分は相手を大事にできてたかというところ、結局、相手に求めるばかりだったし、自分の至らなさが返ってきたんやな、と。距離ができて振り返ったときに、自業自得やったと気づいて。自分を省みることがなかったら、『相手が悪い』ばっかりになってたと思う。このこともそうだし、仏教の教えに照らすからこそ、至らなさに気づけたり、誠実さとか優しさとは何かを一步踏み込んで知れますよね」

愛\$は素顔美人

いやはや、それにしても、愛\$菩薩というパワーワードの破壊力たるや。字面のインパクトも凄まじい。そもそも

右ページ／菩薩をイメージした
衣装に斬新なパフォーマンス。
仏教のメッセージを載せた
エンターテインメント性あふれる
「法事」に観客は釘づけになっ
ていた。

なぜ愛\$菩薩とネーミングし
たのか——。

「菩薩」とは「仏道を歩む
者」の意。「その中のアイド
ルの存在になれたら」との思
いから「愛\$」の名を冠
し、「一緒に仏道を歩みま
しょう」というメッセージも
込めた。「アイドル」をカタ
カナではなく「愛\$」とした
のは、他の菩薩様のお名前が
皆、漢字だから。「\$」
を、「佛」の右側の文字、漢
字の「弗」にしようかと思っ
たが、すぐには読めないた
め「\$」にした。つまり
は「愛」も「\$」もただの当
て字。「愛\$」ドルを愛す
る」と読めてしまうが、決し
て「お金が好き」といった意
味は無い。「南無阿彌陀仏」
南に阿彌陀「仏無し」ではな
いと同じだ。

菩薩姿というビジュアル
は、「仏縁の無い人たちに、
こちらを向いてもらうための
姿」とのこと。「ライブハウ
スでは、『このアーティスト
ト、一体どういうステージン
グをするんだろう』と興味を
持つてもらえない限り、聴い
てもらえないんですよ。いき
なり法衣で現れてもそれはそ
れで身構えるだろうし。よほ

どの力量があれば違うだろう
けど、自分のやろうとしてる
内容が難しいだけに、まず、
聴いてもらうことが必要で」
こうした真意を知るまで、

ネーミングやビジュアルだけ
で判断し、実際に法事も見ず
に、訝しげに思っていた自分
が恥ずかしい。「愛\$菩薩」
だからこそ、若い人に興味を
持つてもらえるのだろうし、
それを妥協せずにやり切るの
がすごい。なかなかできない
ことだと思ふ。勇気がいるこ
とだとも思う。愛\$菩薩の活
動を地道に続けてすでに9
年。法然上人は当時の仏教界
からの批判によって流罪にま
で遭われたが、私が当初思っ
ていたのと同じような批判の
声も、これまでにあったら
う。それでも「私が支えられ
ている仏教とご縁を結んでい
ただくための名前と姿」と言
い切る、潔さが清々しい。
私が最も感動したのは、第
一印象の背後にある、この真
摯な心根の部分。その素顔の
部分こそ、今回の記事を通し
て知っていただきたかった。
だから表紙も、菩薩バージョ
ンではなく、あえて「アイド
ルの素顔」風の写真に。ちな
みに、頭のお団子から飴ちや

んが出てくるかはご想像にお
任せします。

愛\$菩薩のネクストステージ

以前は、お寺からの出演オ
ファーを断っていた。前述の
通り、仏縁が無い人たちに向
けての活動のため、すでにお
寺に参らされている方に対して
するのは「違う」と考えてい
たからだ。だけど昨年9月、
自身のお寺で愛\$菩薩の
法事「お寺SONIC」を初開
催した。

「町のお寺は、檀家さん以外
は近寄りたくて入りにくい
印象があるようだけど、温か
みがあるし、お坊さんと話も
できる。ライブハウスで出
会った方が、次はお寺に足を
運んでもらうきっかけになれ
ばと思つて、寺ソニを企画し
たんです。あの衣装はライブ
ハウスで興味を持ってもらう
ための姿だし、お寺で仏様の
前だったら法衣で歌う方が自
然だな、と。ライブハウスと
お寺で、する内容は基本的に
同じだけど、スタイルを変え
る意味もじっくりきて」
こだわったのは、ご住職の
法話をプログラムに入れるこ
と。「学びも人生経験も浅い

私には話せない仏教の深い部
分を、私に代わって住職が伝
えてほしい」と思つたから
だ。

寺ソニ以降は、十夜フェス
(※9頁参照)をはじめ、お
寺での法事もするようになって
た。今年の9月に開催され
た「お寺SONIC2」に、私
も足を運んだ。来場者75名。
スタッフを入れると90名近く
の参詣者。会場のお寺の本堂
には、ご高齢の檀家さんだけ
でなく、若い人たちの姿も多
い。京都・大阪・兵庫をはじ
め、名古屋や東京など近畿圏
外からも、菩薩ファンが駆け
つけていた。お寺の独特の温
かさの中、愛\$菩薩の歌声に
耳を傾けながら、「僧侶に魅

力があれば、お寺までの遠さ
は関係無いのだろうな」とい
う思いを心に抱いた。
インパクトが鮮烈で、笑い
も取りつつ、仏教を熱く歌う
愛\$菩薩。私たちも彼女に刺
激をいただきながら、現代に
生きる方々の苦悩に少しでも
応えられるよう、これからも
力を尽くしていきたい。

中村祐華(なかむら・ゆうか)

1982年、奈良県吉野郡生まれ。浄土宗
西迎院副住職。佛教学部仏教学科浄
土学専攻卒業。尼僧アイドル愛\$菩薩と
して、ライブハウスやお寺で法事(ライブ)
活動中。好きな食べ物、ショートケーキ
と粕汁。夢は「いつか知恩院でライブを
できる日が来ること」

愛\$菩薩オフィシャルサイト
URL <http://idolbosatsu.jp/>

informartion

愛\$菩薩と 声明の一座法要

12月25日(日)午後5時30分より
浄土宗西山深草派 総本山 誓願寺にて
(予定)

フリースタイルな僧侶たちでは、多くの方に「法要」を理解し
楽しんでもらえるイベントを年末に開催します。伝統的な様式
の法要は仏教知識がなければ理解が難しいため、格式高く
近寄りたいたいものとなりつつあります。そこで、愛\$菩薩のラ
イブや声明、若手僧侶による法要解説などを組み込み、伝統
様式を残しつつ現代版にアレンジした法要を行います。

2016年12月25日(日) 午後5時30分～午後8時30分
会場／誓願寺(京都府京都市中京区新京極桜之町453)
共催／フリースタイルな僧侶たち、朝日新聞社 寺社文化財
みらいセンター

詳細は「フリースタイルな僧侶たち」のWebやFacebookページで随時公開

お坊さん日和。

だ、
21

“さかなにも歴史あり”、
まんか
みざわ うまき。



漫画 光澤裕輝 ● 真宗大谷派称讃寺衆徒。ホームページを作りました。http://cartoonmonk.com

Reviewer

山田真悟 (浄土真宗本願寺派僧侶)

トレンドィでナウいものが好きなおしゃれ僧侶。

2016年夏のアイドル

SF好きな男同士の模範的な会話。「見た?」「見た」。何のこと? この夏のアイドルといえばガッツィーラ(ゴジラ)しかない。いきなり東京湾に現れて河を遡上する。「何のために?」なんて野暮な質問はよしてくれ。そもそも理由なんてない。理由を求めているうちに手の施しようがなくなる。と、そう釈尊は「毒矢の喩え」で教えてくれたのではない。

矢を射たのは誰か、身長はどれくらい、どの街の人かと聞いているうちに毒は回る。同じように、上陸するか、しないか、対策を決断できないうちに上陸が始まる。ゴ

ジラを待ち受けていたものは、楽観してスマホを構え動画撮影に興じる市民だった。「逃げてえ」——心の声は、劇中の都民には聞こえない。

人生には上り坂、下り坂、まさかの三つの坂がある。とは結婚式のスピーチの定番文句だが、まさにまさかの上陸だった。

さて、この人生の“まさか”=老・病・死を、何人も例外なく避けては通れない。人類に打つ手はないが、この克服困難な問題に果敢に挑み、答えを見出した人こそが釈尊だった。

この夏、何十万人も恐怖に陥れた黒いアイドルは教えてくれる。我々に毒矢はすでに刺さっていること。他人事ではないという



『シン・ゴジラ』

公開:2016年
脚本・総監督:庵野秀明
主演:長谷川博己
製作・配給:東宝

一休さんが好きそうなお題です。

第16回

しりとり 法話バトル

「小さくて大きいもの」

今号の勝者はこちら!

福田瑞規(いなだ・みずき)

浄土宗・月仲山称名寺。24歳の駆け出し僧侶。京都のお寺で育つ。「プロレス観戦で熱い心を養っております」

嫌な思い出がふとした瞬間に蘇ってくる。ことごとくありま
せんか? 私の場合、中学生の
ときに私の顔を「恐竜みたい」
と言われたことか(笑)。ほん
の些細な出来事でも、受け取
り方次第で、大きく鮮明に記
憶に焼き付けられます。

お釈迦さまが、人を三種の
文字に喩えておられることを
ご存知でしょうか。まず、怒
りを岩に刻んだ文字のように
永く覚え続ける人。次に、怒
りが砂に書いた文字のように
すぐ消える人。最後に、水に
文字を書いても流れて形にな
らないように、他人の悪口を
聞いても少しも心に跡を留め
ることもなく、温和な気の満
ちている人です。

私を含め、世間には岩に刻
んだ文字の人がおられます。

人を思い出す際に「俺にあの
悪口を言ったアイツ」と嫌な
気持ちになり、自分も苦しま
てしまう。ほんの小さな記憶
でも大きな苦しみを刻み続け
てしまうのです。

苦しみから抜け出す方法
は、嫌なことがあっても心に
跡を留めない、水のような心
の在りかたです。空虚な罵詈
雑言には耳を貸さず、心を強
く保つように心掛けること。
難しいことですが、これしか
ありません。共に、精進して
参りましょう。

僧侶の皆さま、法話募集中です!

第17回 「フーギャフ」(470字)

締切 2016年10月31日

第18回 「らしさ」(470字)

締切 2016年12月31日

応募先 info@freemok.net

おすすめの講座・フリスタ主催イベント

ヨガで心と身体をととのえる



仏教ヨガ講座

2016年10月5日、11月2日
〔東京〕

Let's Begin ヨガLife!

初心者にも分かりやすく丁寧な指導で、仏教とヨガの側面から穏やかで健康な生活を提案します。

午後7時～午後8時30分 参加費／500円 定員／40名(男女不問)

講師／Yuuka(ガッソ有香) 山形県誓願寺浄土宗教師 会場／仏教伝道センタービル8階 *着替え必要

疲れた心と頭の整理をする



働く人のための坐禅会

2016年10月18日、11月22日
〔東京〕

今日の社会において、多くの人々がさまざまな環境下でストレスを溜め込んでしまい、心に余裕を持つことができないという声を聞きます。このような方々に、形式にとられない坐禅会を通して、心や頭の整理をしていただく場を用意しております。

午後8時～午後9時30分 参加費／500円 定員／30名(男女不問)

講師／阿純章(おかじゅんしょう) 会場／仏教伝道センタービル7階



公益財団法人
仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

上記の講座・イベントは事前のお申し込みが必要です。
メール、ウェブサイト、Facebookにて受け付けております。

〒108-0014 東京都港区芝4-3-14 Tel.03-3455-5851 Fax.03-3798-2758
E-mail: bdk@bdk.or.jp <http://www.bdk.or.jp>  bukkyodendokyokai で検索
JR田町駅西口 徒歩8分、都営地下鉄三田線・浅草線 三田駅A9番出口 徒歩2分

仏教の“音楽”に触れる



ハナ唄になるまでが理想の聲明講座

2016年10月23日
〔京都〕

私たちの身の回りにあふれる音楽のルーツは宗教音楽にあります。西洋音楽なら讃美歌が有名ですが、日本の能や狂言は念仏踊りや聲明(唄うお経)がルーツだそうです。そんな日本に伝来して1200年の聲明が、あなたの“ハナ”からメロディにのって出てくるまでが理想の超ビギナー向け講座。聲明僧の制度がない浄土真宗僧侶が講師を担当します。お寺で声を出すことに興味がある方はお気軽にお越しください。 *筆記用具必要

午後3時～午後5時 参加費／1000円 定員／20名 会場／龍岸寺(京都市下京区八条坊門町564) 講師／山田真悟、福山智昭 申込／<http://www.freemonk.net/events>

僧侶たちと時間をともに過ごす



アラサー僧侶とゆるーく話す会

2016年11月5日
〔京都〕

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会。今回は十夜フェス内での開催となります。仕事・恋愛・家庭のことなど普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいことなど、何でもお話しください。単純にお坊さんと話してみたいという方や、お坊さんの生態や仏教の考え方に興味のある方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。お寺で心を落ち着かせて、お坊さんと一緒に考えてみませんか？

午後3時～午後5時30分 定員／12名 会場／龍岸寺(京都市下京区八条坊門町564) 申込／<http://ju-ya.jp> *十夜フェステケット「11月5日 龍岸寺」が必要

今号のピックアップイベント

お寺が舞台のアート×寺フェス



十夜フェス

2016年11月5日～11月14日
〔京都〕

京都の学生クリエイターと僧侶が主体となって共に創るアート×寺フェス「十夜フェス」。毎年秋に全国の浄土宗のお寺でひろく行われる念仏会(ねんぶつえ)・十夜法要のコンセプトを正面から捉えつつ、アート表現とのコラボによるこれまでにない伝統文化体験そのものの在り方を創造する。今年で2回目となる十夜フェスでは、アートと法要そのもののコラボレーションに踏み込み、表現することで、舞台となる5つのお寺を異“寺”元空間に。悠久の時を超えて、お寺の山門は月明かりに照らされながら、静かに開く——来たれ、摩訶不思議異寺元世界。

午後6時～午後10時(開催日数は計10日間調整中) 入場料(一日)／前売1000円 当日1200円(複数枚購入でさらにお得になります) 会場／京都市内のお寺(三寶寺、龍岸寺、宝蔵寺、大善院、正法寺) 主催／十夜フェス実行委員会 運営／株式会社jiji、Art Net Work Feast、DeLadder 協賛／公益財団法人仏教伝道協会、株式会社日本電子精機 協力／龍岸寺、明覺寺、宝蔵寺、正法寺、宝寶寺、株式会社テクマク、フリースタイルな僧侶たち 後援／京都市、朝日新聞社、KBS京都、京都新聞社、読売新聞京都総局、向源、三条会商店街振興組合 詳細／<http://ju-ya.jp> または Facebook で十夜フェスを検索 問合せ／十夜フェス実行委員会 juya.2016@gmail.com

音楽と仏教が出会う



メリシャカ LIVE 2016

2016年12月17日
〔京都〕

「仏教」と「音楽」を同じ空間で体感できるライブイベント「メリシャカLIVE」。7回目となる今回は久しぶりの京都開催。東本願寺しんらん交流館を舞台に、浄土真宗本願寺派の若手僧侶のコミュニティサイト「メリシャカ」が、ミュージシャンと仏教者と楽しみかけがえのないひとときをお届けいたします。登場するアーティストは、青葉市子 with 小山田圭吾 & U-zhaan。スペシャルな単独公演、各地のフェスやイベントなどで注目を集めるコラボレーションがメリシャカLIVEに初登場です。迎え撃つ僧侶陣は、MCに、伝説のコントグループ「ジョビジョバ」の元メンバーで、現在は僧侶として活動する木下明水。トークセッションには、本願寺の東西両派から気鋭の僧侶が登場。カルト宗教問題に取り組む僧侶 瓜生崇と、思春期の性的問題に向き合う僧侶 古川潤哉が、来場者の声も交えながら、穏やかに、熱く、鋭く語り合うセッションが繰り広げられます。歳の瀬の京都で、仏教と、音楽と、そしてあなたを感じるスペシャルな時間に、ぜひ立ち会っていただきたいと思います。

午後1時開場 午後1時30分開演 入場料／前売3500円 当日4000円 会場／東本願寺しんらん交流館大谷ホール(京都市下京区烏丸通七条上ル) 出演／青葉市子 with 小山田圭吾 & U-zhaan、瓜生崇、古川潤哉、木下明水 前売／<http://eplus.jp> 詳細／<http://www.merry-shaka.com>

疑問や悩みも、楽しんだモン勝ち

ブツダ de 大喜利

2016年10月11日
〔東京〕

参加者からお題をいただき、お坊さんによる大喜利法話で疑問や悩みなどのモヤモヤを一緒に考えます。お題は何でも結構です。夜の銀座で、お坊さんの手作りスイーツを楽しみながら、仏さまの教えに耳を傾けてみませんか。



午後7時～午後9時 会場／築地本願寺銀座サロン(東京都中央区銀座2丁目6-4 竹中銀座ビルディング5階) 講師／松本智量(延立寺住職、認定NPOアユース仏教国際協力ネットワーク副理事長、自死・自殺に向き合う僧侶の会事務局長)、西原龍哉(天真寺)、平井裕善(浄照寺)、白川憲仁(正法寺)、柏倉学法(真宗寺)、横内教順(称名寺)、木原健(光明寺) 申込／<https://ginzasalon.tsukijihongwanji.jp/top/kokoroacademy.html>



May Buddha bless you and all around you.

編集後記

今号の一枚

奈良出身の尼僧アイドルだけあって「スガシカコ」と名づけられた鹿がいつも法事にお伴している。熱苦しい編集後記に疲れた方は、この写真で癒されてください。

ベンチャー企業を立ち上げた友人の言葉が、常に脳裏にある中での編集だった。「好きな仏教者は法然」という彼は、その理由を次のように語る。「法然さんが既存の仏教サイドの怒りを買ったのも分かります。それまでの仏教全否定ですから。一緒に学んできた人やお世話になった人を裏切ることになる。それで自分も流罪になって、弟子は殺されたし。そこまでのリスクを犯したのは、『死というリスクを超える利他心』があったからだと思うんですよ。『念仏のみ』という極めてシンプルなソリューションを経典から読み取って、複雑だった仏教を根本的に変革して、世の多くの人に配った。法然さんは、世の苦しみを見てはったんだと思います。自分や仲間の命より、人類を救うことをとった。そこに感動する。時を越えて心をつつんですよ」

法然聖人の「有り難さ」に改めて感じ入ったと同時に、僧侶として実に重く響いた言葉だった。私たちも法然聖人のように、利他心に基づくリスクを取り続けたい。私たちの活動に違和感を抱かれる方もおられるかと思いますが、できればご理解を、さらにはご応援をいただけましたら幸いです。

末筆乍、中村祐華さんをはじめ、今号のためにご尽力くださったすべての方に、心より、感謝申し上げます。

フリースタイルな僧侶たち代表 若林唯人

フリースタイルな僧侶たち 活動支援のお願い

スクーターで通り過ぎる姿か、お葬式やご法事。僧侶を見かける機会はそれぐらいだし、有名な寺院以外のお寺には、なんか入りにくい。僧侶として、この現況を申し訳ないと思うし、もったいないこととも思います。

「人生は苦なり」と説く仏教。ネガティブなようだけど、深い悩みの最中にある時には、その通りだと身に沁みます。なぜ私たちの苦しみは起こるのか。自分も他人も仕合せになるために、いかに生きればいいのか。2500年にわたり伝わってきた仏教は、そのことを教えてくれます。分厚い伝統のポテンシャルは確かなものがあり、今を生きる支えになると私たちは信じています。

仏教を身近に、日常に。そして、あなたの生きる力に。この願いをベースに僧侶と一般のスタッフがチームになって、仏教の本質は変えずに現代に翻訳し、型にとらわれずに仏教を発信する活動。それがフリースタイルな僧侶たちです。フリーマガジンの発行とイベントの実施の二つを軸に活動しており、敷居は低く、中身は深く、軽やかに仏教と出会えるように、安らぎや気づきが得られるように、持てる力を尽くしてまいります。

私たちの取り組みに共感し、応援して下さるサポーターを募集しています。志を同じくする僧侶はもちろん、仏教に真摯に向き合ってくださいボランティアスタッフもお待ちしています。仏教が生きる安らかな社会をご一緒につくっていきましょう。

応援して下さるサポーターを募集しています

- 活動支援を新規・継続でお申し込みいただいたサポーターには、本誌を毎月お送りいたします。(年間6回予定、偶数月1日発行)
- フリースタイルな僧侶たち主催のイベントにおいて優待いたします。
- 法人サポーターの方は、本誌にお名前を掲載させていただきます。

協賛年会費: 5,000円(個人) 30,000円(法人)

〈会費振込先〉三井住友銀行 園田支店 (422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 若林唯人

*お振り込みの際には、あらかじめ下記のいずれかにご連絡ください。
☎050-5583-4330 E-mail: info@freemonk.net

協賛法人サポーターリスト

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます

浄土宗……安心院(八幡市)／安楽寺(南丹市)／延命寺(堺市堺区)／吉祥寺(萩市)／九品寺(京都市南区)／教安寺(福津市)／慶蔵院(伊勢市)／光照院(台東区)／金剛寺(京都市東山区)／西明寺(尼崎市)／西楽寺(京都市伏見区)／西林寺(大阪府泉南郡)／浄栄寺(東近江市)／正覚寺(青森市)／正善寺(伊丹市)／勝楽寺(町田市)／新善光寺(札幌市中央区)／崇福寺(甲賀市)／善願寺(甲賀市)／善道寺(札幌市豊平区)／臺鏡寺(枚方市)／檀王法林寺(京都市左京区)／湖首寺(東京都大島町)／長壽院(台東区)／梅窓院(港区)／法岸寺(静岡市清水区)／寶松院(港区)／法善寺(大阪市中央区)／妙慶院(広島市中区)／無量光寺(鳥取市)／龍岸寺(京都市下京区)

浄土宗西山禅林寺派……光明院・田中医院(京都市中京区)／宝泉寺(津島市)

浄土真宗本願寺派……光照寺(大阪市東淀川区)／光徳寺(みやま市)／光明寺(奈良県吉野郡)／西方寺(大和郡山市)／西法寺(北九州市)／浄元寺(尼崎市)／正源寺(大津市)／浄満寺(大阪市西成区)／信覚寺(福岡県朝倉郡)／崇興寺(福山市)／養法寺(金沢市)

真宗大谷派……覚法寺(福岡県八女郡)／称讚寺(新潟県長岡市)／正蓮寺(伊豆の国市)／超覚寺(広島市中区)／宝皇寺(函館市)

浄土真宗東本願寺派……緑泉寺(台東区)

天台宗……圓融寺(目黒区)／大圓寺(目黒区)／本覺寺(横浜市鶴見区)

高野山真言宗……弘法寺(和泉市)／薬師院(岸和田市)

真言宗御室派……三津寺(大阪市中央区)

臨濟宗妙心寺派……円光寺(台東区)／宜雲寺(江東区)／陽岳寺(江東区)／龍雲寺(世田谷区)

臨濟宗建長寺派……帰一寺(静岡県賀茂郡)／東光禪寺(横浜市金沢区)

曹洞宗……四天王寺(津市)／瑞生寺(浜松市中区)／南詢寺(守口市)

日蓮宗……法華寺(亀岡市)／妙海寺(勝浦市)／妙見寺(橋本市)

時宗……正法寺(京都市東山区)

単立……五百羅漢寺(目黒区)／瑞聖寺(港区)／法然院(京都市左京区)

企業・団体・店舗……一般社団法人 日本石材産業協会(千代田区)／遠藤新兵衛商店(京都市下京区)／学校法人 鎮西学園(熊本市中央区)／株式会社アールアンドタリユ(京都市中京区)／株式会社アンカレッジ(港区)／株式会社カウント・ワン(大津市)／株式会社 京美仏像(京都市北区)／株式会社 薫寿堂(神戸市)／株式会社 作島(京都市下京区)／京都坊主BAR(京都市中京区)／京念珠せにや(京都市下京区)／茶坊えにし(台東区)／寺院コム(京都市左京区)／大正大学(豊島区)／豊田愛山堂(京都市東山区)／浜屋株式会社(姫路市)／坊主BAR 縁(岐阜市)

*各宗派内五十音順

冬用各宗派衣価格・税込

◎布袍化織地	18,800円～	◎黒直綴化織地	27,000円～
◎改良衣化織地	17,500円～	◎白衣テロンウール	9,950円～
◎間衣化織地	17,500円～	◎白衣高級メガーナ京仕立	16,800円～
◎黒衣化織地	30,500円～	◎足袋	950円～

匠のお安いクリーニング お電話お待ちしております

法衣・袈裟製造直販

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル(西本願寺前店)
☎0120-075-024

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

http://r.gnavi.co.jp/k024400/

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都市東山区祇園町南側555番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は

通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へ来店下さい。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| ■奈良王寺店/ ☎(0745)31-2211代 | ■尼崎市役所前店/ ☎(06)6414-3900代 |
| ■奈良生駒店/ ☎(0743)83-2211代 | ■尼崎店/ ☎(06)6413-2211代 |
| ■岸和田店/ ☎(072)445-2211代 | ■宝塚店/ ☎(0797)83-4500代 |
| ■堺鳳店/ ☎(072)261-2211代 | ■西宮店/ ☎(0798)51-2211代 |
| ■藤井寺店/ ☎(072)954-2211代 | ■西宮駅前店/ ☎(0798)34-2280代 |
| ■駒川店/ ☎(06)6709-2211代 | ■三屋店/ ☎(0797)35-1194代 |
| ■八尾久宝寺店/ ☎(072)925-2200代 | ■三宮店/ ☎(079)559-2211代 |
| ■中環東大阪店/ ☎(06)6783-2211代 | ■神戸本店/ ☎(078)371-2211代 |
| ■環屋川本店/ ☎(072)829-2211代 | ■新長田店/ ☎(078)621-2211代 |
| ■枚方家具園地店/ ☎(072)836-2211代 | ■明石店/ ☎(078)927-2211代 |
| ■高槻店/ ☎(072)683-2211代 | ■加古川店/ ☎(079)426-2211代 |
| ■茨木店/ ☎(072)622-2211代 | ■高砂店/ ☎(079)443-2211代 |
| ■箕面店/ ☎(072)726-5522代 | ■姫路店/ ☎(079)282-2211代 |
| ■豊中熊野店/ ☎(06)6853-2220代 | ■福崎店/ ☎(0790)22-2211代 |
| ■豊中店/ ☎(06)6849-2211代 | ■福千店/ ☎(079)272-2211代 |
| ■川西店/ ☎(072)759-2201代 | ■熊野店/ ☎(0791)62-2235代 |
| ■北伊丹店/ ☎(072)780-5211代 | ■赤穂店/ ☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店/ ☎(072)775-2211代 | ■山崎店/ ☎(0790)62-5171代 |
| ■東園田店/ ☎(06)4960-4000代 | ■浜屋漆工芸館/ ☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

「フリースタイルな僧侶たち」 広告募集のお知らせ

「フリースタイルな僧侶たち」に掲載する広告を募集しております。

媒体情報：A4サイズ/12頁/全頁フルカラー/偶数月1回発行・年6回
発行部数：15,000部(2016年10月現在)
設置箇所：寺院、書店、カフェ、その他店舗 *WEBで設置箇所を確認可

お問い合わせ先/フリースタイルな僧侶たち編集部

Tel:050-5583-4330 E-mail:info@freemonk.net

お寺の広報をサポートします。

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。

◎取扱い：名刺/封筒/チラシ/ポスター/冊子など

お問い合わせ先/フリースタイルな僧侶たち編集部

Tel:050-5583-4330 E-mail:info@freemonk.net



心といのちの電話相談室

☎03-3436-6823

相談受付 毎週月曜日・金曜日 10:00～16:00 (祝日、盆、年末年始は休業いたします)

「心といのちの電話相談室」の特徴

あなたを支えたいと
願う人がいます。
つらいお気持ち
おはなしてください。

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

「心といのちの電話相談室」の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料でお受けします

「心といのちの電話相談室」事務局

〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人 浄土宗ともいき財団 内
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ <http://tomoiki.jp/>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たち Vol.43 フリスタが見た尼僧アイドルの素顔

2016年10月1日発行

©フリースタイルな僧侶たち2016 禁無断転載

発行所 フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8305 京都府京都市下京区東若松町795-2-C
☎050-5583-4330 info@freemonk.net

編集長
若林唯人

編集
増田将之
加賀俊裕
飯村絵理子

デザイン
梅本龍青(NILOTPALA)

マンガ
光澤裕顕(mitsuaki)
特集記事寄稿＝若林唯人

最新のイベント情報はPCサイトでCHECK!

www.freemonk.net



誌面作成の裏側やイベント風景など

@freemonk_official